

ひかり野

No.49

Saga University

Library
bulletin

目次

Contents

副館長挨拶	1
佐賀県「司書のつどい」での著書展示	2
学生選書ツアー開催	2
図書館月間 2024	3
常設貴重資料企画展開催	3
大学生のインターンシップおよび中学生の職場体験学習	4
受入資料紹介	5
図書館統計	6
図書館日誌(行事・会議等)	9
館内マップ、各係の紹介	10
貴重書紹介 文政 11 年「シーボルト台風」の記録	12

副館長挨拶

Greetings from the Deputy Director



副館長 川口 淳

佐賀大学附属図書館は、知の探求および学修を支える中核的な拠点として、長年にわたり学生ならびに教職員の皆様とともに歩んでまいりました。近年、情報技術の急速な進展に伴い、学術研究の手法や学習環境は著しく変化しており、本館におきましても、こうした変化に的確に対応すべく、新たな取り組みを積極的に推進しております。

特に昨年度においては、文部科学省の補助金事業である「オープンアクセス加速化事業」を活用し、図書資料のICタグによる管理の推進に取り組みました。これにより、利用者の利便性向上とともに、図書館のセキュリティ機能の強化を図っております。ICタグの導入により、貸出・返却手続きが大幅に簡素化され、利用者の負担が軽減されたほか、資料の所在確認も容易となりました。また、ICゲートの設置により、資料の紛失や意図しない持ち出しの防止、不審者の侵入抑止など、セキュリティ面においても大きな改善が見られました。

さらに、学術雑誌に掲載された論文のオープンアクセス化を推進し、学術情報の広範な共有を可能とする環境の整備にも取り組んでおります。近年では、オープンサイエンスの重要性が一層高まり、研究成果の迅速な公開が強く求められるようになっております。本学においては、機関リポジトリの整備を進めることで、研究者が自身の論文を速やかに公開できる仕組みを構築しております。これにより、国内外の研究者との知識共有が促進され、学術研究のさらなる発展に資することが期待されます。

今後の図書館改修計画を見据え、防災およびバリアフリーの観点から、施設の在り方について再検討を進めております。地震や台風などの自然災害が頻発する昨今、すべての利用者にとって安全かつ機能的な図書館環境の整備は、極めて重要な課題です。現在、耐震補強の実施、避難経路の確保、緊急時における物資管理および情報伝達体制の整備など、防災機能の強化に向けた具体的な検討を行っております。図書館が単なる学修・研究の場にとどまらず、非常時にも安心して利用できる拠点となるよう、今後も不断の努力を重ねてまいります。

図書館は、知識を蓄積する場であると同時に、新たな発見や交流が生まれる知的創造の場でもあります。皆様が本館において充実した学びの時間をお過ごしいただけるよう、職員一同、より良い環境の整備に努めてまいります。どうぞ積極的に図書館をご活用くださいますようお願い申し上げます。今後とも、佐賀大学附属図書館を何卒よろしくお願い申し上げます。

佐賀県「司書のつどい」での著書展示

令和6年2月7日にホテルニューオータニ佐賀で開催された佐賀県立図書館主催の「司書のつどい」において、令和5年8～9月に本館で開催した「SAGA むし結び」のコラボイベント「貴重書に見る昆虫の世界展」での関係教員の著書を展示した。



学生選書ツアー開催

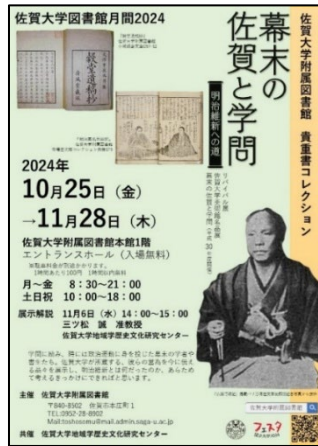
令和6年9月4日に5年ぶりとなる学生選書ツアーを開催した。13名の学生が参加し、紀伊國屋書店福岡本店に赴いて選書を実施し、各学生の専攻分野の学術書や小説など多様な図書約200冊が選書された。参加した学生からは「選書していたらあっという間に時間がたってしまった」「次回も参加したいと思う」などの声が聞かれ、終始和やかなイベントとなった。選書した図書は本館・医学分館の学生選書コーナーに展示しており、よく利用されている。



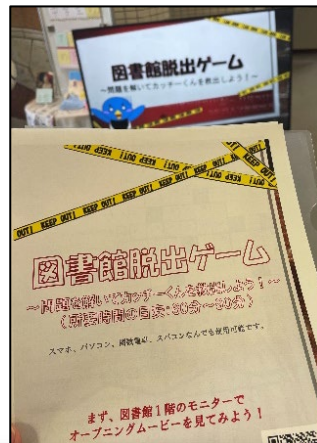
図書館月間 2024

読書週間にあわせ毎年 10 月末から 11 月末の期間を「図書館月間」として、各種イベントを開催している。今年は、附属図書館本館エントランスホールにて「幕末の佐賀と学問－明治維新への道－」をテーマに当館で所蔵している貴重書コレクションから十数点を展示した。

11 月 6 日には地域学歴史文化研究センター三ツ松准教授による展示解説が行われ、参加者からは本展示と『葉隠』との関連性や儒学とその拡がりや背景についての質問が数多く寄せられた。



また、学生向けの参加型企画として「図書館脱出ゲーム」を開催した。参加した学生からは「図書館のサービスを詳しく知る良い機会になった」「POP や問題作りに参加してみたい」との反応があった。



常設貴重資料企画展開催

所蔵の貴重書「小城鍋島文庫」及び「市場直次郎コレクション」から、3か月ごとにテーマを選び、本館貴重書展示エリアで展示している。今年は次のテーマで企画展示を行った。

- ・小城藩日記にみる佐賀藩の種痘
- ・嘶本と生き物
- ・大津絵節と鳥
- ・幕末の佐賀と学問－明治維新への道－



大学生のインターンシップおよび中学生の職場体験学習

大学生1名が5日間のインターンシップのため、中学生4名が2日間の職場体験学習のため来館し、図書館業務を行った。カウンター業務をはじめ、普段は目にしない発注、受入から目録、配架までの裏方の業務一つ一つに取り組んだ。大学図書館の業務の多さや作業の大変さを実感でき、また仕事への取り組み方、進め方等について学べ、貴重な経験となったとの感想が寄せられた。



受入資料紹介

学生用図書

令和6年度は以下の通り図書を購入しました。

教員推薦図書 56 冊、学生希望図書 272 冊、図書館推薦図書 1,640 冊、継続購入図書 479 冊

寄贈図書

平部 康子	地域生活を支える社会福祉と法
佐賀県立図書館	佐賀県近世史料
神谷 祐介	途上国における乳幼児期の子どもの発達：ラオスを題材に
豊島 耕一	非暴力直接行動が世界を変える：核廃絶から気候変動まで、一女性の軌跡
音成 信	方言にくらしをみる 北方町の方言
坂本 卓也	幕末維新期大名家における蒸気船の導入と運用
楊枝 嗣朗	貨幣とは何か？：支払決済システムと金融仲介
坂井 一実	佐賀近代史研究序説
富士見町アツモリソウ再生会議	長野県富士見町アツモリソウ：生物多様性保全に向けての取り組み
本山 和文	沈黙の語り部たち 佐賀の災害歴史遺産調査報告
大嶋 薫	極北の全共闘：あの時代と私たちの 55 年
吉住 磨子	Cercava la bellezza in ogni sua forma : Atti della giornata di studi in memoria di Carlo Del Bravo
松木 明知	華岡青洲の「虚構」と「史実」
宮本 比呂志	レジオネラ症防止指針 = Guideline for prevention of legionnaires' disease
	レジオネラ属菌を知る



図書館統計

〈令和 7(2025)年3月31日現在〉

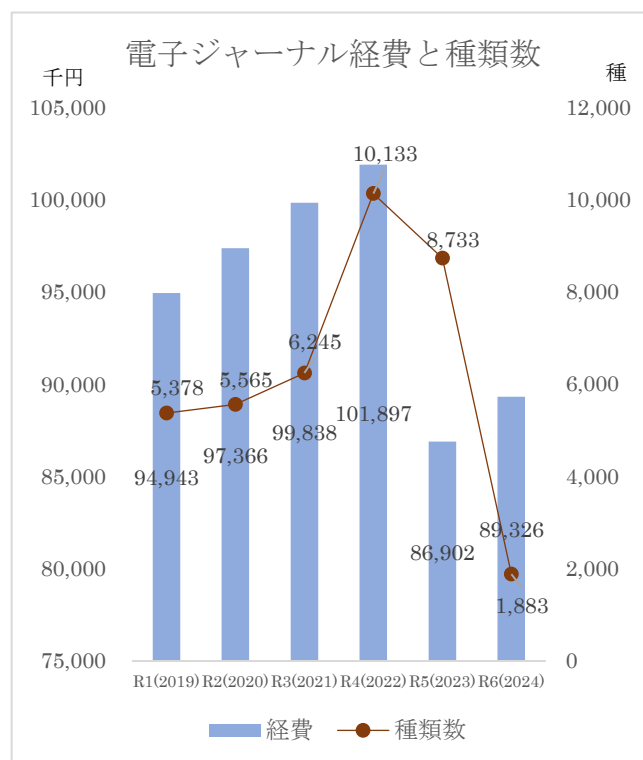
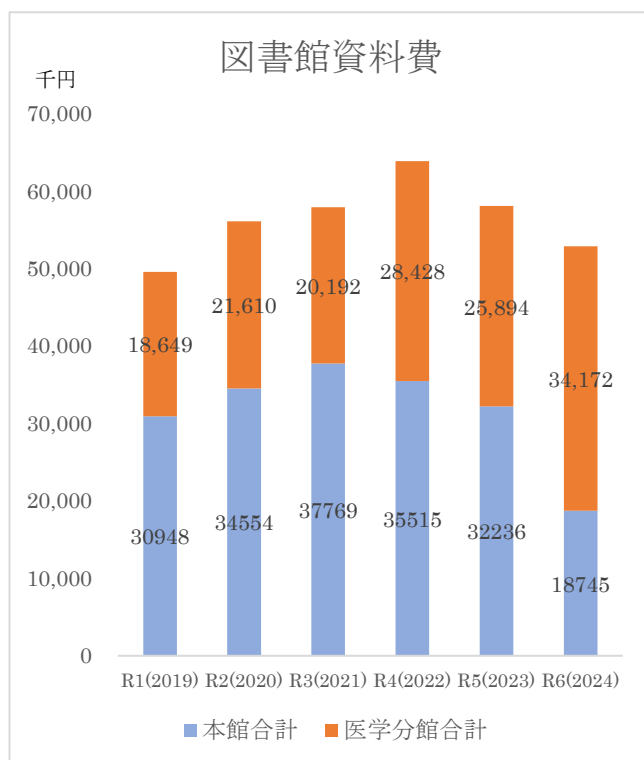
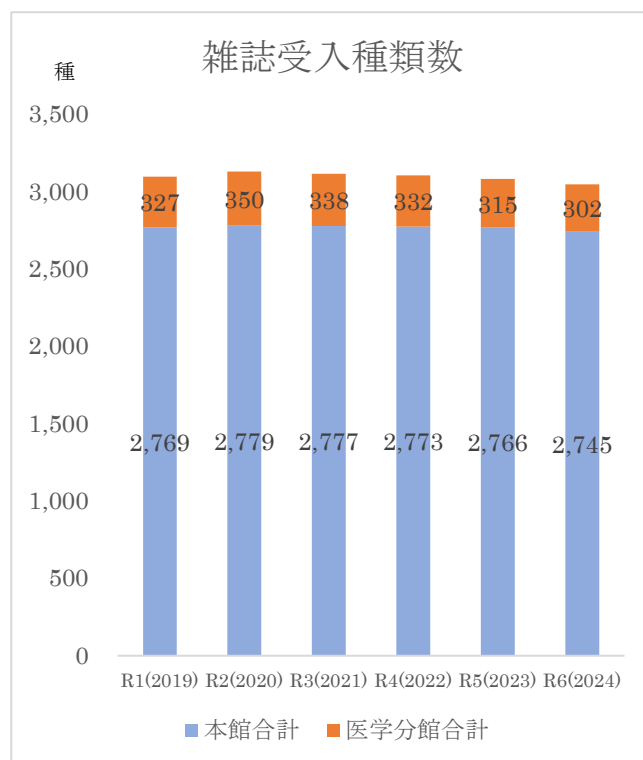
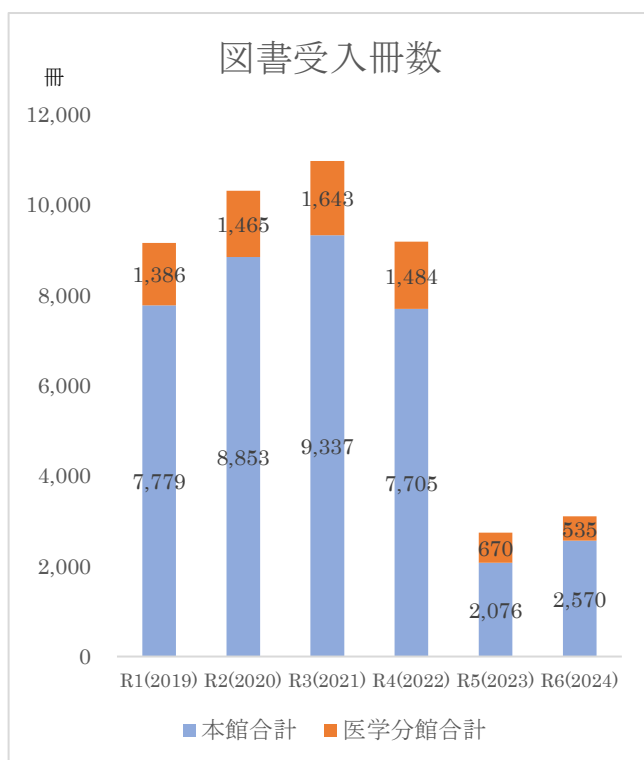
基盤統計

蔵書冊数 (冊)

	和漢書	洋 書	合 計
本 館	403,828	166,061	569,889
医学分館	66,842	39,516	106,358
合 計	470,670	205,577	676,247

雑誌所蔵種類数 (冊)

	和漢書	洋 書	合 計
本 館	6,515	2,974	9,489
医学分館	1,236	1,097	2,333
合 計	7,751	4,071	11,822



サービス統計

開館日数

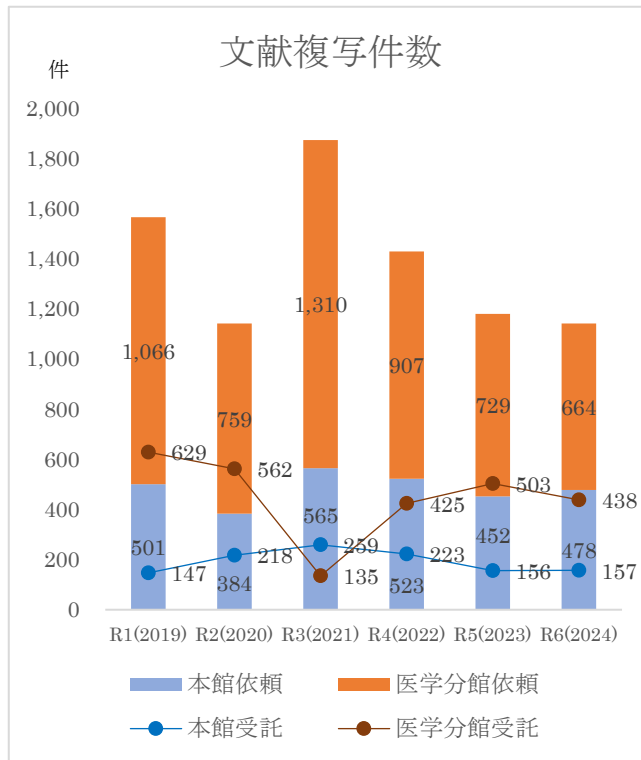
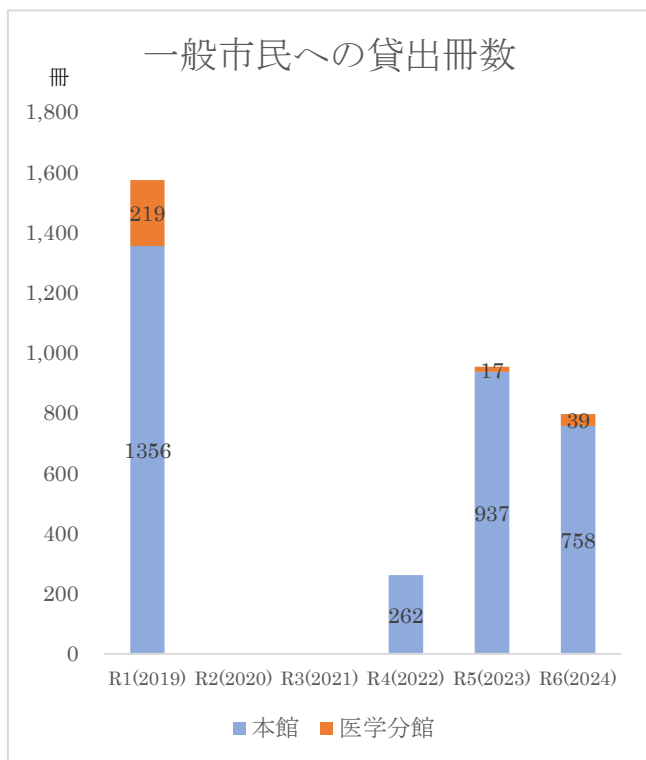
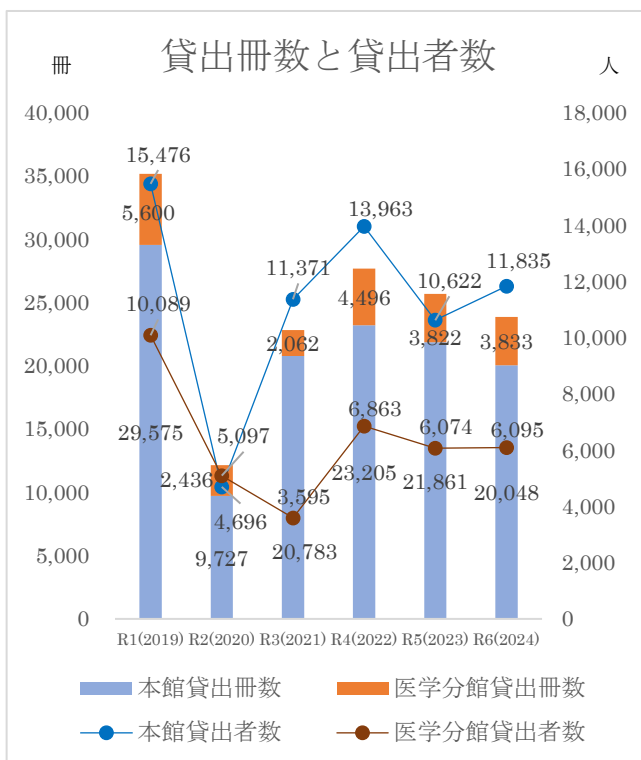
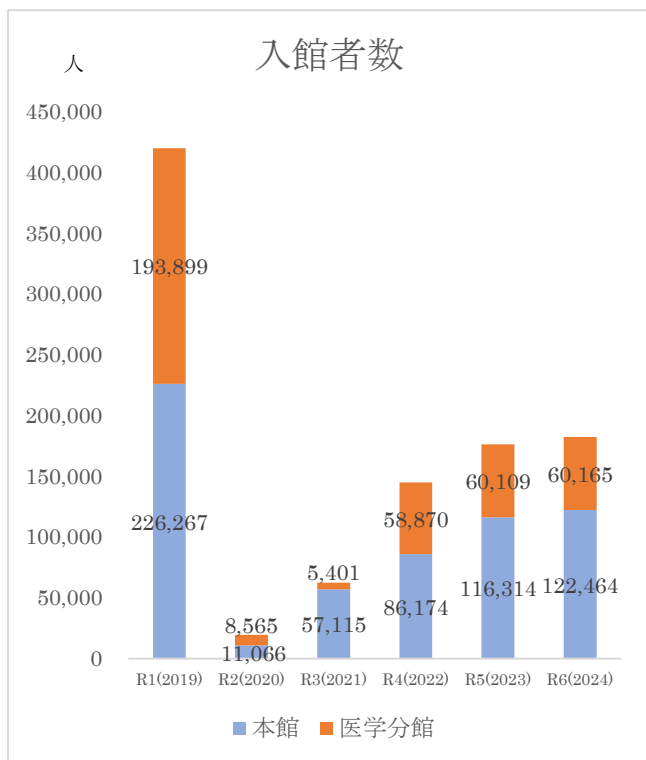
〈令和6(2024)年度〉(日)

	本館	医学分館
平日	235	239
土・日・祝日	108	114
合計	343	353

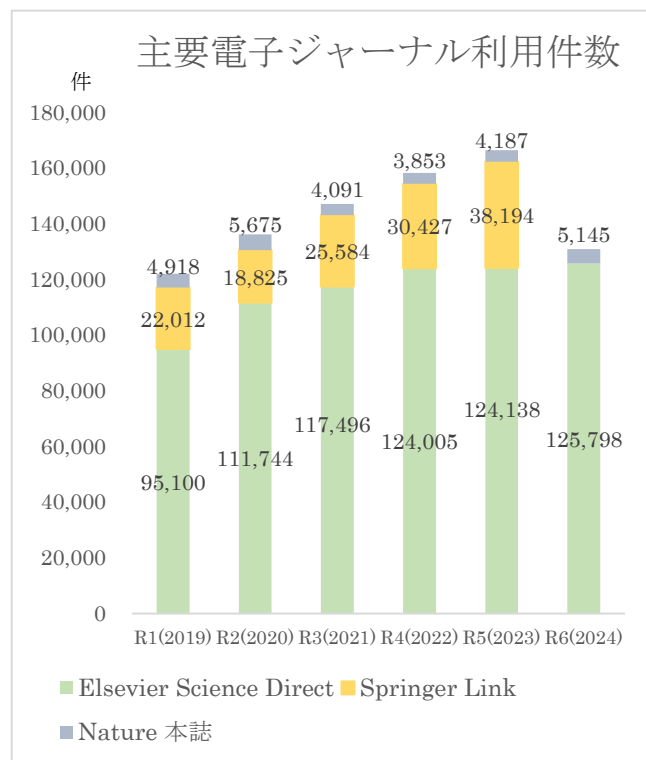
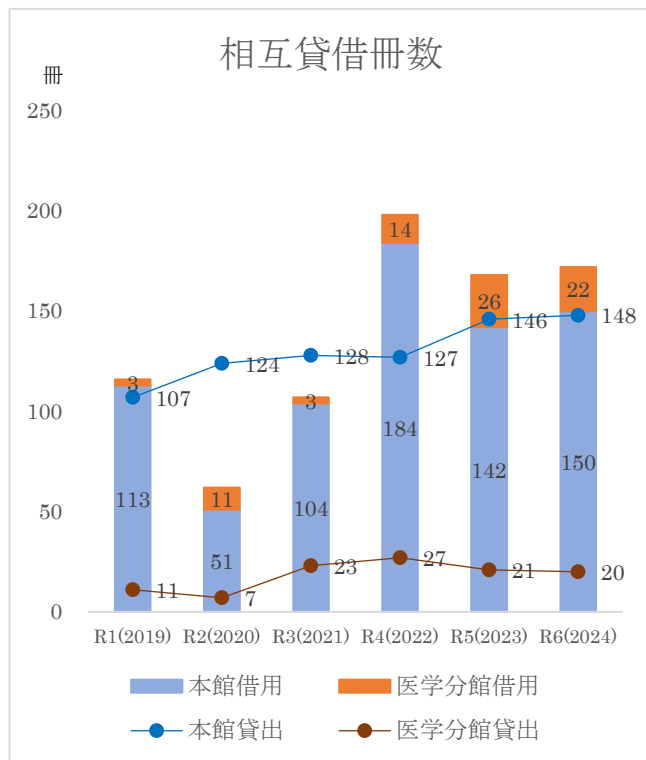
利用対象者数

〈令和6(2024)年度〉(人)

	合計
本館	6,566
医学分館	2,068
合計	8,634



※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、
令和2年から4年まで利用を制限していた



Spring Link 令和6年度より中止

文献データベース利用件数

	R1(2019)	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)
Scopus	(26,458)	(25,331)	(26,781)	(23,018)	(25,925)	(25,724)
朝日新聞クロスサーチ	1,239	412	580	434	813	928
ヨミダス歴史館	(2,184)	(970)	(1,574)	(1,970)	(7,495)	(14,26)
日経テレコン	(78,241)	(53,382)	(83,587)	(69,987)	(50,850)	(44,031)
日経BP記事検索	(2,393)	(1,766)	(1,727)	(1,235)	(1,153)	(812)
ジャパンナレッジ	(2,966)	(5,386)	(9,111)	(3,838)	(6,699)	(11,592)
Academic OneFile				648	625	608
Up To Date	(3,355)	(3,333)	(2,869)	(3,790)	(4,874)	(4,830)
メディカルオンライン	(27,374)	(23,345)	(23,070)	(26,905)	(25,681)	(23,524)
医中誌Web	(63,226)	(36,104)	(47,114)	(43,274)	(37,515)	(35,683)

Academic OneFile R4(2022)から導入

*括弧内は検索回数または本文利用回数

オリエンテーション・講習会(本館のみ)

		R1(2019)	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)
新入生向け	回数	33	0	0	0	23	19
	人数	1,023	0	0	0	1,104	1,063
学部生・院生向け	回数	7	1	1	1	13	9
	人数	170	10	10	10	162	104
参加総数		1,233	11	11	11	1,302	1,195

図書館日誌(行事・会議等)

令和6年

- 4月15日 令和6年度九州地区国立大学図書館協会総会(鹿児島大学)
- 5月31日 令和6年度福岡県・佐賀県大学図書館協議会総会(久留米工業大学 書面会議)
- 6月3日 令和6年度第1回附属図書館運営委員会(オンライン)
- 6月7日 第75回九州地区大学図書館協議会総会(鹿児島大学 書面会議)
- 7月9日 第71回国立大学図書館協会総会(宮崎大学 ハイブリッド)
- ～7月10日
- 7月19日 令和6年度第2回附属図書館運営委員会(オンライン)
- 7月26日 オープンアクセス加速化事業 採択
- 8月27日 令和6年度佐賀県大学図書館協議会総会(西九州大学)
- 9月9日 インターンシップ受入(学部生)
- ～7月13日
- 9月20日 令和6年度第1回福岡県・佐賀県大学図書館協議会南部地区研究会(有明工業高等専門学校)
- 10月3日 職場体験学習(中学生)
- ～10月4日
- 10月8日 令和6年度第3回附属図書館運営委員会(オンライン)
- 10月11日 令和6年度九州地区国立大学図書館協会実務者連絡会議(鹿児島大学)
- 10月18日 九州地区医学図書館協議会総会(オンライン)
- 10月25日 図書館月間2024 (幕末の佐賀と学問・図書館脱出ゲーム)
- ～11月28日
- 10月31日 本庄地区総合防災訓練実施
- 11月6日 令和6年度第4回附属図書館運営委員会(メール審議)
- ～11月8日
- 12月5日 令和6年度九州地区国立大学附属図書館館長・事務(部・課)長会議(九州大学)
- 12月12日 令和6年度第5回附属図書館運営委員会(オンライン)

令和7年

- 1月16日 令和6年度第6回附属図書館運営委員会(メール審議)
- ～1月22日
- 2月5日 第5回司書のつどい(ホテルニューオータニ佐賀)
- 2月6日 令和6年度第2回福岡県・佐賀県大学図書館協議会南部地区研究会(久留米工業大学)
- 3月19日 令和6年度第7回附属図書館運営委員会(メール審議)
- ～3月24日

館内マップ、各係の紹介

◆ 総務主担当

図書館運営のための総務全般を担当しています。

【業務内容】

- (1) 各種会議及び諸行事
- (2) 図書館所管の規程等の整備及び法人文書管理
- (3) 物品、資産の管理及び建物、設備の維持管理
- (4) 調査、統計、広報及び諸報告
- (5) 図書館の広報
- (6) 予算の管理並びに決算
- (7) 勤怠管理

◆ 図書管理主担当

図書や雑誌が館内に配架されるまでを担当しています。図書・雑誌だけでなく、電子ジャーナルも契約しています。

【業務内容】

- (1) 図書館資料(電子資料を含む)の収集、選択及び受入
- (2) 図書の除籍、除却
- (3) 図書館資料(電子資料を含む)の目録編成、管理
- (4) 図書館資料費の予算管理

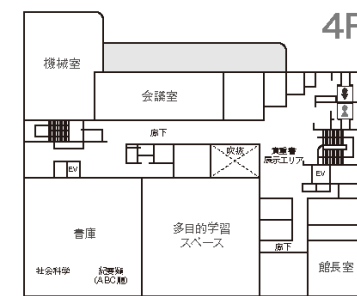
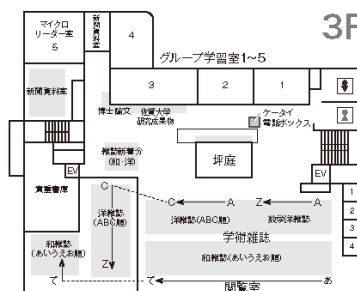
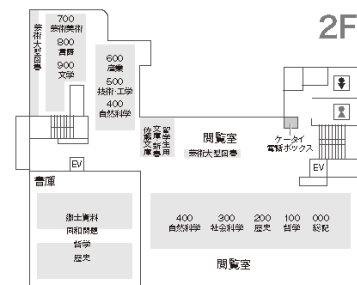
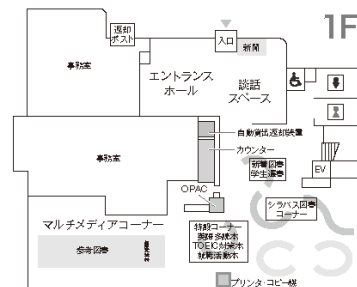
◆ 学術情報主担当

図書館の利用全般を担当しています。カウンターなどで利用者のみなさんと接する機会の多いスタッフです。

【業務内容】

- (1) 図書館資料(電子資料を含む)の閲覧、貸出及び管理、保全
- (2) 閲覧室及び書庫等の管理及び保全
- (3) 図書館及び図書館資料(電子資料を含む)の利用支援
- (4) 文献複写、図書の相互利用
- (5) 機関リポジトリの構築、運用
- (6) 貴重書の保存、活用
- (7) 図書館システムの保守、管理及び運用

本館



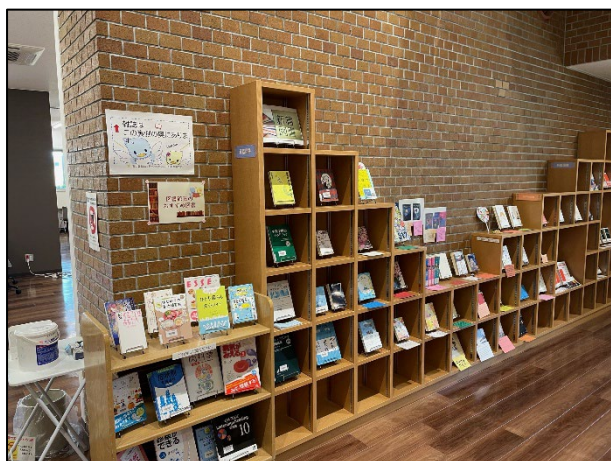
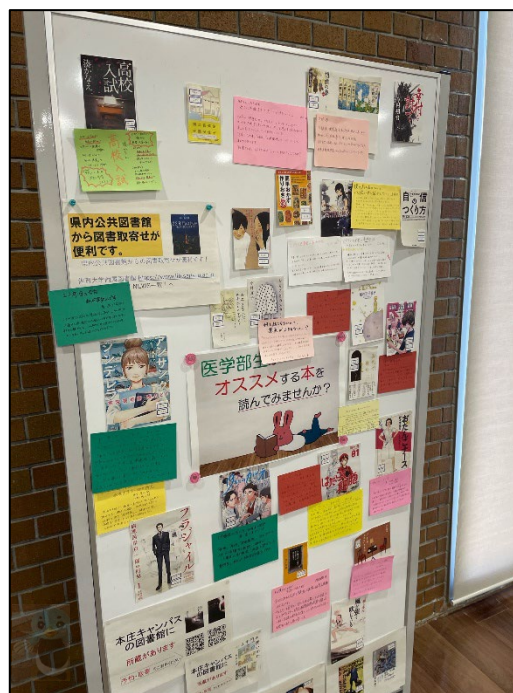
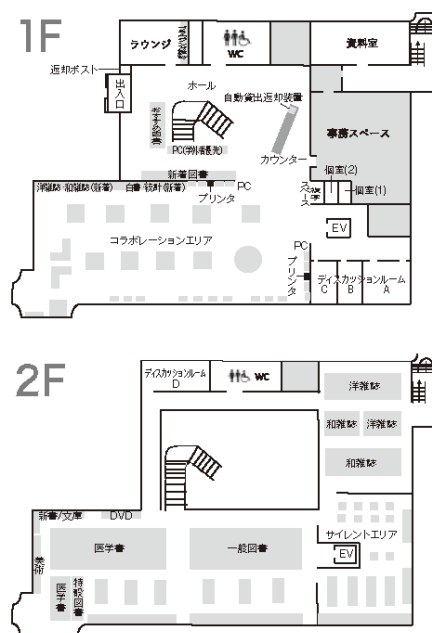
◆ 医学分館担当

医学部にある医学分館を担当しています。

【業務内容】

- (1) 図書館資料(電子資料を含む)の閲覧, 貸出及び管理, 保全
- (2) 閲覧室及び書庫等の管理及び保全
- (3) 図書館及び図書館資料(電子資料を含む)の利用支援
- (4) 文献複写, 図書の相互利用
- (5) 図書館資料(電子資料を含む)の収集, 選択及び受入
- (6) 図書館資料(電子資料を含む)の目録編成, 管理

医学分館



貴重書紹介

文政 11 年「シーボルト台風」の記録

解説

文政 11 年 8 月 9 日(グレゴリオ暦 1828 年 9 月 17 日)から翌 10 日にかけて、九州・中国地方を大型台風が襲い、甚大な被害をもたらした。小西達男氏の研究 によれば、台風は 10 日午前 2 時頃西彼杵半島に上陸し、九州・中国地方を縦断した。

佐賀藩の記録では、重臣の家々で作成された日記に、台風関係の記事を見いだすことが出来る。いくつか紹介すると
・蓮池鍋島家「側日記」…深夜 0 時頃より「大風」となり、蓮池城下(佐賀市蓮池)や村々では家屋の倒壊・倒木・怪我人が多数出て、死者もあった。

・武雄鍋島家「御日記草書」…9 日午後 6 時頃より北東の風が吹き始め、深夜 0 時頃には「甚だしき大風」となった。10 日午前 2 時過ぎより南風、4 時過ぎには南西の風になり、少し弱まった。雨は一晩中強く降り続けた(佐賀城下の様子)。有田では火事が起こり、800 軒ほどが焼けた。12 日には津波が起こったというデマが広がった。

・神代鍋島家「日記」…9 日午後 11 時頃より北東の風が強くなり、ここ十年で「無類の大強風」となった。267 軒余の家屋が全壊・半壊し、2 人が死亡した(長崎県島原半島神代地方(雲仙市)の様子)。

附属図書館所蔵小城鍋島文庫には、小城藩の記録である「小城藩日記」が多数伝来しているが、残念ながらこの年の分は遺っていない。しかし「御状方日記」という表題の、小城藩主の側で作成されたとみられる記録があり(写真)、次のように記されている。

深夜 0 時頃から夜明けまで「大風雨」が続き、藩主の邸宅周辺をはじめ、武家屋敷や小城町、農村まで、藩領全域で家屋倒壊・倒木がおびただしく、死者・怪我人も多数でている。芦刈地方(小城市芦刈)には「津浪」が襲い、堤防が決壊して家屋が流失し、溺死者もいる。火事も発生しており、「誠に稀なる天変」である。

なお、「シーボルト台風」と名付けたのは気象学者の根本順吉氏だが、この台風によりオランダ船が座礁し、シーボルトが密かに持ち帰ろうとしていた日本地図が発見されたというエピソードは、江戸時代から流布しており、熊本の国学者中島広足が広めた。しかし近年の研究 で、このエピソードは否定されている。

I. 小西達男「1828 年シーボルト台風(子年の大風)と高潮」(日本気象学会「天気」57(6)、2010 年)。

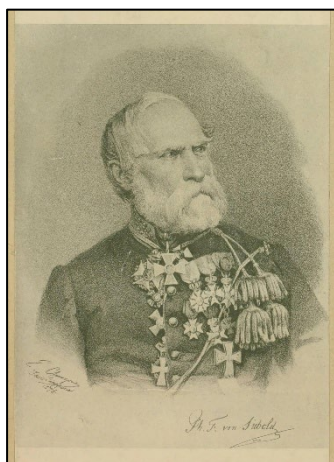
II. 佐賀県立図書館所蔵蓮池鍋島家文庫。

III. 武雄市立歴史資料館所蔵武雄鍋島家文書。

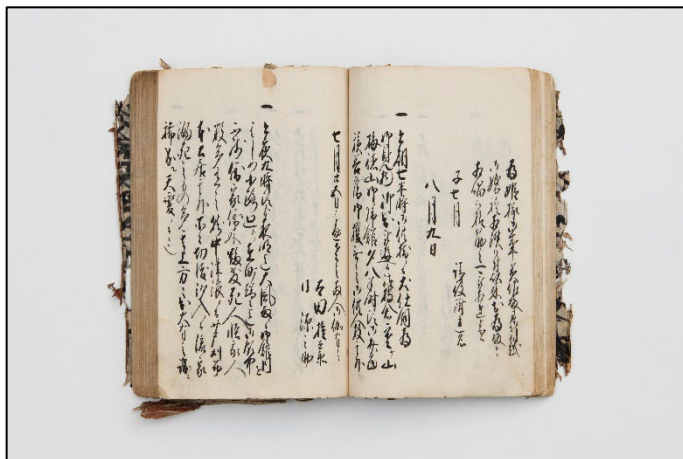
IV. 長崎歴史文化博物館所蔵神代鍋島家文書。

V. 前掲太田論文。

VI. シーボルト事件と台風の関係、および中島広足によるエピソード流布にかんする近年の研究として、梶輝行「通説をくつがえす 検証シーボルト事件」(『歴史読本』55 巻 11 号、新人物往来社、2010 年)、海老原温子・宮崎克則「創られた「シーボルト事件」―「台風」・「座礁」・「禁制品発覚」の結びつき―」(『西南学院大学国際文化論集』第 26 巻 1 号、2011 年)などがある。



シーボルト



御状方日記